



ビジネス価値創出のための成熟度フレームワーク：IT-CMF

IT-CMFは、インテルによって開発された、企業におけるIT利活用の度合いを、35の重要活用力について、5段階の成熟度で評価するというもので、現在、アイルランド国立メヌース大学にあるIVI(Innovation Value Institute)で、教育および研究が行われています。IT-CMFにより各企業は、IT利活用に関する組織の強みと弱みを知ることができ、検討すべき活用力がどこにあるのかを知り、また成熟度を向上する指針を得ることができます。(http://www.ivi.ie/it-cmf)

このたび、東京工業大学・社会人アカデミーでは、IVIから教育担当ディレクターのMichael Hanley氏をお迎えし、シンポジウムを開催することになりました。
万障お繰り合わせの上ご参集ください。

記

【日時】 2016年9月21日(水) 13:30~17:00
(受付開始 13:00)

【場所】 「ウインクあいち」(愛知県産業労働センター)
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
☎ 052-571-6131 (受付 9:00~20:00)

【スケジュール】

- 13:30 開会
- 13:35~14:45 Michael Hanley氏による講演および質疑
「IPA iCDコンセプトとIT-CMF連携について」
(独立行政法人情報処理推進機構(IPA)IT人材育成本部 林口英治)
- 14:45~15:15 休憩
- 15:15~15:30 「わが国でのIT-CMF普及活動」
(IVI日本支部設立準備委員会事務局長 近野章二)
- 15:30~16:00 ケース1: 「IT-CMFによるアセスメントの実際」
(東京工業大学 飯島淳一)
- 16:00-16:30 ケース2: 「医療機関におけるIT-CMFによるアセスメント結果の考察」
(京都民医連中央病院 下川忠弘)
- 16:30~17:00 17:00 閉会

- 【参加費】 無料
- 【使用言語】 英語 (Michael Hanley氏による講演および質疑) ・ 日本語
- 【定員】 100名 (満席となり次第受付を締め切ります)
- 【お申込受付期間】 2016年7月11日(月)~9月16日(金)
- 【申込み】 ①氏名、所属をご記入の上、下記までご連絡ください。
②参加のご案内(参加票)をメールにてお送りします。
③参加票は、当日受付にてご提示ください。

【お問合せ】 ivi@academy.titech.ac.jp (東京工業大学 社会人アカデミー事務局)

